



ファームウェアバージョン:	DGS-1210-10P	3.12.B023
	DGS-1210-28P	
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	
	DGS-1210-52	
ハードウェアバージョン:	DGS-1210-10P	B1
	DGS-1210-28P	
	DGS-1210-20	
	DGS-1210-28	
	DGS-1210-52	
発行日:	2014/12/11	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード時の注意事項:	2
アップグレード手順:	2
追加機能:	7
MIB および D-View モジュールの変更点:	7
修正した問題点:	7
既知の問題:	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
3.12.B023	2014/12/11	DGS-1210-10P	B1
		DGS-1210-28P	
		DGS-1210-20	
		DGS-1210-28	
		DGS-1210-52	

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：**CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード**

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download{firmware_fromTFTP tftp://ip-address/filename cfg_fromTFTP tftp://ip-address/filename}	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-1210-28> download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 DGS-1210-28-B1-3-12-B023.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DGS-1210-28> show switch
```

```
System name           :  
System Contact        :  
System Location       :  
System up time        : 0 days, 0 hrs, 1 min, 24 secs  
System Time           : 01/01/2012 00:01:20  
System hardware version : B1  
System firmware version : 3.12.B023  
System boot version   : 1.00.005  
System Protocol version : 2.001.004  
System serial number   : QBQ71C6000036  
MAC Address           : 90-94-E4-4B-37-76
```

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード：admin
3. Tools メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



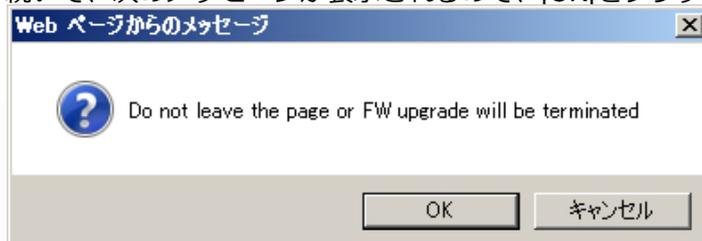
4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

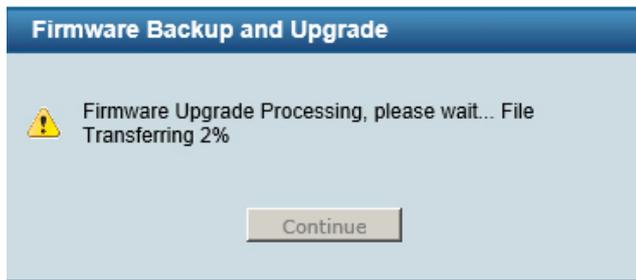
- (1) [HTTP]にチェックをいれます。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始します。
以下の順で画面が表示されますのでそのままお待ちください。



注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) 以下の画面が表示されるので、デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]と[TFTP File Name]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
3.12.B023	1. Auto Surveillance VLAN の初期 MAC に B0C5540 ~ B0C5547 を追加致しました。 2. CLI に "debug information" コマンドを追加致しました。

MIB および D-View モジュールの変更点：

ファームウェアバージョン	MIB	変更点
3.12.B023	DGS-1210-10P-BX-3_12_B004.mib DGS-1210-20-BX-3-12-B004.mib DGS-1210-28-BX-3-12-B004.mib DGS-1210-28P-BX-3-12-B004.mib DGS-1210-52-BX-3-12-B004.mib	1. 以下を ACL に追加致しました。 "aclL2RulePriority" "aclL2RuleReplacePriority" "aclL3RulePriority" "aclL3RuleReplacePriority" "aclv6L3RulePriority" "aclv6L3RuleReplacePriority" 2. poePortDelayPowerDetect を追加致しました。(DGS-1210-10P/28P のみ)

ファームウェアバージョン	D-View モジュール	変更点
3.12.B023	—	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
3.12.B023	1. IGMP グループが WEB GUI 画面に表示されない場合がある問題を修正致しました。 2. Link Change トラップが正しく動作しない問題を修正致しました。 3. SSL 証明書上のモデルが正しくない問題を修正致しました。 4. Open SSL の脆弱性の問題を修正致しました。 5. DHCP リレーが正しく動作しない問題を修正致しました。 6. System up time が正しく表示されない問題を修正致しました。 7. snmpwalk を実行した際に、ポートスピードが正しく表示されない問題を修正致しました。 8. RADIUS attribute で、called-station-id の表示される位置が正しくない問題を修正致しました。 9. LLDP MIB の問題を修正致しました。 10. コンフィグのアップロードが正しく行えない問題を修正致しました。 11. PoE Delay Power Detect MIB の名称を変更し、Google chrome での表示の問題を修正致しました。(DGS-1210-10P/28P のみ) 12. Smart Binding で、クライアントを正しくブロックできない問題を修正致しました。 13. HIKVision カメラとの接続の問題を修正致しました。 注意：POE の MCU が最初にアップグレードされると、初期化の時間が約 6-7 分遅れます。

	<ol style="list-style-type: none"> 14. トラフィックを注入した後でも、VLAN サマリのエントリが表示されない問題を修正致しました。 15. ACL プロファイルが作成できない場合がある問題を修正致しました。 16. ループが発生している際に電源を ON/OFF してリブートを行うと、LED 表示が不安定になる問題を修正致しました。 17. 省電力機能の時間設定が正しく行えない問題を修正致しました。 18. Dlink Discovery Protocol を 0.24 に更新いたしました。 19. ACL 画面および QoS 画面の表示を修正致しました。 20. Telnet セッション中にリブートする場合がある問題を修正致しました。 21. ループバック検知を有効にしても、ループを検知できないことがある問題を修正致しました。 22. リカバリーシステムが正しく動作しない問題を修正致しました。 23. ACL IPv6 Class ルールを編集すると、ポップアップ(Unable to set the replace priority)が表示される問題を修正致しました。 24. RSTP ポートが正しく動作せず、Ping ができない場合がある問題を修正致しました。 25. 稀に Ping、WebUI にアクセスできなくなることがある問題を修正致しました。 26. STP External Cost を特定のポートに設定できない場合がある問題を修正致しました。 27. リンクアップ/ダウン Trap で、間違った OID を使用していた問題を修正致しました。 28. SNMP トラップが重複する問題を修正致しました。 29. PoE ポートの Power Limit 設定を Class4 に設定しても、PD デバイスを抜くと設定が Auto に戻る問題を修正致しました。(DGS-1210-10P/28P のみ) 30. IMPB DHCP スヌーピングよりも、ユーザの設定が優先される問題を修正致しました。 31. スタティックルータポートが正しく動作しない問題を修正致しました。 32. Power Saving を無効にしても Device Information 上で有効と表示される問題を修正致しました。 33. VLAN の IGMP スヌーピングを無効にしたあとにリブートを行うと、設定が有効にもどる問題を修正致しました。 34. 存在しないVIDを設定してもエラーメッセージが表示されない問題を修正致しました。 35. 設定値を空白に設定した場合に、適切でないエラーメッセージが表示される問題を修正致しました。 36. Smart Binding DHCP スヌーピングが長期間有効になっていると、スイッチがハングアップまたはリブートする場合がある問題を修正致しました。
--	---

既知の問題 :

ファームウェアバージョン	既知の問題点
3.12.B023	<ol style="list-style-type: none"> 1. EEE モードで Intel82579 LM LAN コントローラを接続した場合に、リンクアップダウンを数分間繰り返したのちに安定する問題。 (対処法) Intel ドライバを最新にアップグレードすることで安定します。 もしくはスイッチの EEE 機能を無効化してください。 2. EEE モードで JMicron JMC251A LAN コントローラを接続した場合に、リンクスピードが 100Mbps に落ちる問題。 (対処法) JMC251A の最新バージョンは IEEE802.3az と十分な互換性がありません。 スイッチの EEE 機能を無効化してください。